



ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2640



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

夢をかたちに

CONTENTS



2008-09 年度 R I 会長
李東建



ガバナー 勝野 露観

1. ガバナーメッセージ	1~7
2. 識字率向上月間によせて	8
3. 国際協議会雑感	9
4. ガバナー補佐を務めて	10~11
5. 委員会報告	12~15
6. 新入会員紹介	16
7. 訃報	17
8. ポールハリスフェロー・米山功労者(1月分)	18~19
9. ハイライトよねやま	20
10. ロータリー文庫	21
11. 出席報告(1月分)	22
12. 3月行事予定表	23

3月は識字率向上月間
(Literacy Month)

2008-2009

3

NO.9



国際ロータリー第2640地区ガバナー事務所

〒640-8215 和歌山市橋丁2-3 サイバーリンクスN-4ビル2F

TEL. 073-428-2640 FAX. 073-428-2643

E-mail: info@rid2640g.org

URL: <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2640地区
ガバナー 勝野 露観

「光陰矢の如し」と言いますが、まことにそうでありまして、月日・歳月の過ぎ去る事の速さに驚くばかりです。皆さんの年度も残り4ヶ月となりました。7月より10月までは「因」の月、11月より2月迄は「縁」の月、3月より6月迄は「結果」の月です。7月より10月の間にクラブ運営の根因をしっかりと固め、ターゲットを明示し、理念を固め、クラブの会員に会長さんの方針を行きわたらせるのです。11月より2月迄の縁の月にはその方針を実践し、行動に移し、ロータリーの本質を学ぶ月です。そして3月からは「果」の月に入ってまいります。皆さんの年度の結果がどう云うものになるかは、これからの皆さんの取り組み次第により、その成果が決定されるのであります。年頭に於いて、クラブに於いて表明された皆さんの方針をチェックして下さい。そして有終の美を飾って下さい。

後半の最大の行事は地区大会です。この大会は何としても素晴らしい大会にしなければなりません。2日目には懇親会があります。本来ならば無料にしたかったのですが、地区には、それだけの予算がありません。会員減少の影響を受けて、地区に入る金額が激減しておりますので、どうぞ御許し願いたく存じます。皆さんに喜んで頂ける様な地区大会にするべく、関係者一同必死に頑張っております。万障繰り合わせて頂きまして、一人でも多くの会員の皆様にご参加頂けますよう、会長の皆様からクラブのメンバーにお伝え下さい。以上が私からの皆様に対するお願いであります。

そう！そう！もう一つ大切な事があります。イギリスのバーミンガムで開催される国際大会です。是非ともご参加頂きたいのです。ロータリーの大きさと素晴らしさを必ず実感できます。

さて、私の皆様に対するガバナーアドレスですが、ガバナー月信という物は、ただ単なる会長・幹事に対する行事報告や伝言だけでは無いと密かに思っております。ロータリーの理解を深めて頂き、ロータリーを好きになって頂く為に、そして真のロータリアンになって欲しいと云う願望から、月信を書かせてまいりました。

私の目標は『素晴らしい指導者・リーダーの育成』『リーダーシップをしっかりと身につけた人物を育成して、世の中に送り出す事』であります。私はガバナーに就任した当初からこの事を唱え続けてまいりました。何故ならば、トップに在る人物の出来によって、一国の運命、一

つの組織の運命が決定されるのです。そして、その与える影響は実に大きなものがありまして、多くの人々の運命、幸福が左右されるのです。それだけに「強い責任感のある」人物がポストに座れなければならない。およそ、官職の性格は、その職にある人物次第で決まるものです。責任感の無い人間であって、自分の事しか、自分の名誉・利害得失しか考えない人間が重要なポストである官職につくと、その官職を自分の欲望の為に利用するものです。リーダー学を学ぶ為に、ぜひ読む可き書があります。「フランス革命史」「ロシア革命史」「アメリカ独立革命の歴史」です。特に「フランス革命史」は是非ともお読み下さい。フランス革命の影の支配者と云われたジョセフ・フーシェの伝記は皆様に多くの教訓を与えるでしょう。

ツヴァイク全集 『ジョセフ・フーシェ』 みすず書房より出版されております。

大きな動乱と大変革の嵐の吹きすさぶ時代に於いて、それこそ山の中より、岩の中より、冬の猛烈な吹雪の中より、打ちひしがれた人々の中より、正体の分からない欲望の鬼の如き人間が、数限りなく生まれてくるのです。様々の能力と個性を持った人間が生まれてくるのです。また様々のタイプのリーダーも生まれてきます。フランス革命は、今の時代を読み解く為の大いなる参考になります。その中の一節を、私の気に入っておる一節をご紹介します。

追放(逆境)の賛歌

『いまだかつて、誰が追放生活の賛歌をうたった者があるだろうか。追放生活には没落のうちに人間を高め、厳しく孤独をしいながら、打ちひしがれた魂の力を、新たに別の次元で集中させるような、運命的な創造力があるのだ。それなのに芸術家達はつねに常に追放を単に外面的な出世のつまづき、無益な幕あい、残酷な中断をして嘆いてきたにすぎない。ところが、自然のリズムは、こういう強制的な休止期間を要求するものだ。およそ、社会の底辺を知る者だけが、人生の全体を知っているのだ。人は、はねかえされた時に、初めて自己の突進力の全容を知るのだ。とりわけ、創造的天才というものは、絶望の深みから追放の僻地から、自己の真の使命の限高と高さを見きわめるために、このような一時的孤独を強いられる必要がある。人類の最も重要な教えは僻遠の地からやって来たといつて良い。大宗教の開祖モーゼ、キリスト、マホメット、釈迦、彼らは皆先ず、荒野の静寂へ、人跡まれな境に入って行かねばならなかったが、そのあとで初めて決定的な言葉を発することが出来たのである。ミルトンが目を失い、ベートーヴェンは耳を失い、ドストイエフスキーは懲役、セルバンテスは禁固の刑の処せられ、ルターはヴァルトブルク城に禁足され、ダンテは追放され、そしてニーチェが自らエンガディンの荒涼たる地域に閉じこもった事、これらは全て人間の目覚めた意志に対抗して、自己の守り神が密かに求める要請に他ならないのである。

もっと低次元で世俗的な政治の世界にあっても、一時その圏外に去る事は、政治家に新しい若々しい視力を与え、政治的な力の動きについて、一層すぐれた考察、考量を可能ならしめる。だから一生の経歴にとって、一時的空白を生じることほど、幸運なことはありえないのだ。いつも上の方から、玉座を取りまく雲の中から、象牙の塔や権力の高みからしか世の中を見下ろ

さない人は、卑屈な人々の微笑を、危険な奉仕しか知らないし、いつも自分は、はかりの分銅しか手にしない人は、ものの真の重さを忘れてしまうからである。

芸術家や将軍や政治家をもっとも墮落させるものは、万事がいつも意のまま、望みのままに成功することだ。失敗して初めて芸術家は自己と作品との真の関係を学び、敗北して初めて将軍は自己の欲りを知り、失脚して初めて政治家は真の政治的展望を授かるのだ。不断の富は人を惰弱にし、不断の喝采は感覚を鈍らせる。中断のみが惰性的なリズムに新鮮な緊張と創造的な弾力を与える。不幸だけが世の現実を深く広く見えてとる力を授けるのだ。すべて追放こそは、厳しい教えではあるが、やはり教訓であり、学習である。それは、柔弱な者の意志を鍛え上げ、迷える者を決断させ、剛健なる者をいっそう剛健ならしめる。およそ追放生活は真の強者にとっては、その力を減殺するものではなく、もっぱら、その力を強化するものである。』

お読みなられて感想はいかがでしょう？私は若い頃よりも、昨今の方が、この文章の意味する所を、ウン、ウンと頷きながら、読むようになりました。この著物は30代の頃より読んできましたが、読む度に、新鮮な気持ちで読んでおります。つくづく著者のツヴァイクの人生を読み取る見識の高さを感じ入っております。

大なり小なり、1つの組織の長となる人々は、強い個性と信念を持っております。また責任感を持っておられます。しかし人間的な魅力、人間的な味が無いと、新しいものを創造していきませんし、人々がついて来ません。人々が信頼して、この人ならば、ついて行きたいと思うような人には、何とも言えぬ人間的な魅力があるものです。この人間的な味のある魅力のある人というのは、先程紹介致しましたツヴァイクの言葉の中にもあります様に、本当の逆境、本当の追放、本当の地獄というものを、実際に身体で体験しておる、知っておるのです。私は職業柄、常に人の死というものを見てきております「死の持つ意味」と「死は必ずあるのだ」という事です。あの世には何も持って行けません。魂のみしか持って行けないのです。死を通して、死を見つめて、「その人の人生がどうであったか!？」を察知してまいりました。死の前に於いては、この世の金も地位も名誉も価値を持ちません。ただその人の魂がどうあったかが一番問題となるのです。

今、私達は大変な激動の時代に生きておりますが、今までの如き、浮いた浮いたの軽薄な物の考え方の通用しない、もっと！もっと！真剣に人生を生きなければならぬ時代になったのですから。或る意味では、この逆境が人々の大きな薬になってくれれば良いのではとも思っております。イソップ童話の「アリとキリギリス」の話にもありますように、結局は、今までの生き方が結果として、出てきたのに過ぎないのです。そして、こう云う大変な体験をする事によって、物のありがたさが分かるのではとも思うのです。病気になって健康のありがたさが分かり、貧困になって金のありがたさが分かるように！

そして、アメリカ発の経済的発送の異常さを身にしみて分かることによって、汗水流して働

くことの大切さ、世の中の為に本当に有益な事業の大切さを分かるようになるのです。今の時代こそ、我々ロータリーの目標であり、目的である、ロータリーの綱領(the object of Rotary)の価値が発揮されるのです。

The Object of Rotary (ロータリーの目的)

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise

ロータリーの目的(綱領)は「真に価値ある(有益な)事業の基盤(基礎)として『人々に喜びを与えんとする考え(奉仕の理想)』を勇気を持って実践(鼓吹し)、この考え方を身につけて行く様に育てて行く事(育成し)です。世の中の為になる、世の人々にとって有益である事業のみが、即ち「人々に喜びを与える」「人々の幸福を念じておる」そう云う理念に裏付けられた、本当に価値の或る事業のみが、世の中に受け入れられ、繁栄して行くのである。

私はこの文中にある **encourage** と **foster** と云う言葉が大好きです。

En-courage は「勇気を出して、やってみてください!」という意味です。そして **foster** は「小さな一粒の種子を植えて、水をやり、太陽の光をそそいで育てて行く」ことです。粘り強く、愛情を持って、一つの事をはぐくみ育てて行くことです。『勇気を出して、思いやりと愛情を持って、育成して行って下さい!』という愛情に充ちた文章です。本当に成功し、繁栄する事業は、そのベース(根底)に「人々に喜びを与えん」とする物の考え方があるのです。

そして、この考え方をより個々に具体的に言うならば

And in partialar, to encourage and foster

First. the development of acquaintance as an opportunity for service

第Iに「仲間づくり・友づくり」です。

先ず、仲間、良いパートナーが第一に必要です。良い人間関係が大切です。日本文のロータリーでは「奉仕の機会として、知り合いを広めること」とありますが、正直何を意味しておるのか、さっぱりわかりません。『人々に喜びを与えたい。人々に喜んでもらいたい。こういう理念を大切に作る仲間の輪を広げよう。』というふうに訳した方が理解しやすいと思います。こういう考え、思いを持ち大切にしておる社風、従業員の思考の中にこの理念が貫かれているならば、その会社は素晴らしい会社に成長するでしょうまた、こういう思いやりのある気持ちを持つ友人・仲間の輪を広げようとするならば、素晴らしい人間の集団となるでしょう。ロータリークラブの会員相互に、この気持ちがある事によって、真のロータリークラブとなるでしょう。またロータリーファミリーはこの気持ちを大切にしてもらいたい。

Second. High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

(Ⅱ)これは、ロータリアンの事業観(企業哲学)であります。ロータリーの企業哲学です。実に素晴らしいロータリーの企業経営哲学であり、経営理念であります。

仕事というもの、企業・事業というものを、どの様に考えたら良いのかというテーマです。

(1) [最高の道徳的水準] を追求すること！

ビジネスと知的職業(弁護士、医師、教師)に於いて、最高の道徳的水準を保持すること。

Ethical standards つまり、人間として最も大切な倫理、道徳性を言うのですが、簡単に言うと「人の道」にそむかない事を倫理と言っております。ビジネスや商売というものは、どうかすると金をもうける為には何をしても良いという傾向が生まれ、自己の欲望、自己の利益を中心にして、人としての優しさ、思いやりに欠ける傾向がどうして生じて来るのです。人の幸福を祈る、人に喜んでもらいたいという、仁愛を忘れてはならない。

(2) [仕事の価値をしっかりと認識すること！]

『世の中の為になる、世の中に有益な仕事職業は、素晴らしい価値(ねうち)をもっておるのだ。という事をしっかりと認識する事が大切である。』自分の仕事が世の中の為になる、人々の為になる仕事かどうかを常に問い続けることが大切なのです。そんな仕事が存在価値があるのです。

(3) [品位を高める事！]

『各々(めいめい)のロータリアンは、その仕事(職業)を品位あらしめ、世の中に喜びを与える(奉仕)ように！』

この(3)の精神がプロの精神であります。自分の従事しておる仕事のレベルを上げ、品位を高め、品質を高め、仕事を通じて、世の中の発達と向上の為に奉仕し、人々に楽しみと喜びを与えようと言う、深く高いプロとしての精神をロータリアンは持たねばなりません。

以上の事業観、企業哲学をロータリアンは自己のものとして、真のプロとしての道を歩む可きであります。実に素晴らしい真の経営哲学ではありませんか！人はこの世に於いて生きる上で、必ず何らかの形で仕事についております。一日の大部分を仕事に費やしておるのですから、自分の従事する仕事の持つ価値を良く知っておる必要があるのです。そして、その仕事を通して、人間として成長していく必要があります。「一生を通して、する仕事がある人は幸福です！」死ぬまで勉強なのですから～。

仕事は人に「緊張感」と「責任感」と「努力」と「愛情」を与えてくれます。仕事には様々な種類があります。ただ単に金を得る為のものだけではありません。世の中の為になっておる

のだ！人々に喜びと楽しみを与えておるのだ！という実感があるのか？ないのか？が一番の問題なのです。世の中の為にならぬ、人々に悲しみを害を与えるようなビジネスは必ず滅亡するものです。当然の事なのですが、この当然を分からぬ人の何と多い事でしょうか！

Third, The application of the ideal of service in each Rotarian's business and community life

【人生のモットー】

- (Ⅲ) 奉仕の理想、即ち「人々に喜びを与えんとする考え」をもって、ロータリアンは、その個人生 (personal life)、仕事 (business life)、社会生活 (community life) を営む事！私達の生活は仕事だけが生活人生ではありません。家庭生活 (personal life) があり、地域や社会の交流の生活 (community life) があります。

これらの生活、つまり、我々の人生を生きる上で、最も大切な根本的な理念「the ideal of service」(人々の幸福を祈る。人々に楽しみと喜びを！)をもって、人生を生きて行って欲しい。これがロータリアンの生活態度であります。これはまさに菩薩道であり、常不軽菩薩道であります。こういう人は奉仕精神の持った人であり、人間として、レベルの高い品位の高い人物であります。奉仕精神の無い人間は、結局は、友人が集まって来ませんし、もし集まって来るのならば、それは、あくまでも、金の為、利欲の為であって、人間としての、魂のかよいあつた仲間関係にはならないでしょう。

Fourth, The advancement of international understanding, good will, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of crevice.

【よりグローバルな交際によって】

(Ⅳ) ロータリーはグローバルな世界的なビジネスマン職業人との交際を通して、奉仕の理想「人々に幸福！を、人々に喜びを！」という理想によってむすばれた、人々との交際親交によって国際間の理想を育成し、世界的視野を広げ、親善と平和を推進する事を願っておるのです。昔と違って、私達は、今、世界的かかわりの中に生きておるのです。一国中心、一国単独主義では、生きていけません。特に日本の様に、資源の無い国にあつては、外国との交流、貿易なしでは生きてゆけない。様々の職業人のダイ被用者の集合組織であるロータリーは、当然、より広く、グローバルな視野を広げ、世界の状況に対して、より深い知識と見識を持ち、人間関係を広げ、人脈を広げて、よりよい好意と善意に充ちた、平和で安定した関係を発達させなければならぬのです。

以上、ロータリーの綱領 The object of Rotary について、わかり易く説明してみました。昨

今如き、不安定で、さっぱり未来がわからなくなっておる状況であればある程、しっかりとした物の考え方、行き方、理念がより重要となり、大切となるのです。説明させて戴きました。ロータリーの綱領の価値の素晴らしさは今の動乱の世にあって、その光りをより輝かせるでしょう。私達ロータリーはロータリアンは、このロータリーの綱領を伝導する大なる役割と使命を持っておる事をどうか忘れないで欲しいのです。ロータリーの教国の伝導者なのですから。ロータリーに入会して、ロータリーをわからないメンバーがあまりにも多すぎます。ロータリーの素晴らしさは、ロータリーの綱領の素晴らしさから生まれて来るのでありますから、この綱領をよく理解する事によって、ロータリーの素晴らしさをわかるようになります。そして、ロータリーの魅力を感じるようになるのです。ロータリーを好きになるのです。

これが、ロータリーの魅力の再発見であり、ロータリーの源点に帰る事なのです。

ロータリーの綱領に戻る事なのです。どうか、各クラブの会長・幹事さん、そしてロータリアンの方々、又、この月信を読んで下さっておる愛読者の皆さん！一生、何の為に生きておるのか！？をよくよく考えて戴きたいのです。欲望のみ利欲のみの人生はあまりにも、むなしくないでしょうか？

——外部広報の件について——

本年度地区方針に於る重点目標として、外部に対するロータリーの広報をかかげてまいりました。ロータリーの様々のプロジェクト並活動は実に、尊敬すべきものでありまして、広範囲・多岐にわたっております。しかるに、この素晴らしい活動を一般社会の人達は、かいもくと知ってよい程、知りません。よってロータリーに対する認識が非常に低いものとなっております。今回の産経新聞とのタイアップにより、2640地区の様々の活動が新聞紙上に掲載されました。地区広報委員長の川村さんをはじめとする委員会の皆さんの多大なる御精進努力により可能となったのですが、その成果は実に多大なるものがありまして、好意にみちた反響が帰ってまいっております。この事業が可能となりましたのは、ひとえに各クラブの皆様方の善意による所であります。心より御礼と感謝申し上げる次第であります。まことに有難うございました。

－識字率向上月間によせて－

「コミュニケーションデー」と決議「23-34」

パストガバナー 中村 幸吉

私のクラブ（富田林 RC）では、毎例会、点鐘して直ぐ、卓話とは別に会員交替で、「三分間スピーチ」をやって貰います。そして、その月の最終例会日に卓話の代わりに「コミュニケーションデー」と言って、数人ずつのグループに分かれ、世間話をするようにしております。

1月の29日（木）に、年末年始の”しきたり”を中心にして「子供に伝えたい、日本の良い習慣」をテーマで、「コミュニケーション」を致しました。年末の餅つきやら、お正月の門松、三ケ日の日の丸掲揚、けん玉、そして竹馬遊びやらが話題になった一方で、より大切な事として、「母一人、子一人で厳しい生活をしている家庭」を支援するような「地域での助け合いの心、思いやりの心」を伝えたい、と鋭い指摘もありました。

当日、私は、冒頭の3分間スピーチが当たっておりましたので、以前から折を見て話題にしようと思っていた決議「23-34」（手続要覧 P.84）を取り上げました。時間も限られておりましたので、1)にありますが”ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり”を指摘し、これは”例会における交流を通じて掴んだ物事の基本的な考え方”と捉えて欲しいこと、そして5)において表現されている”国際ロータリーは、クラブの諸活動を命じたり、禁じたりすることは出来ない”事を指摘しておきました。

我がクラブのある例会日にあった2つのことを記しましたが、一見すると表題の月間とは無関係のように思われるでしょうが、識字率の向上は、上のような話題を取り上げる大切なツールであること、そしてその内容が如何にロータリーにとって大切な事であるかを、皆さんに訴えたかったのです。



国際協議会・見聞録



ガバナーエレクト 村上 有司

1. 世界530余地区のガバナーエレクトを集め、アメリカ西海岸にある軍港の街“サンディエゴ”で、1月18日～25日迄国際協議会が開かれた。日本の同期ガバナーエレクト33名（1名病欠）と共に、1週間の会場となるホテル・マンチェスターグランドハイアットに着くと、先発していた小沢R I 理事や研修リーダーらが、玄関で向い入れてくれた。いよいよ、その時が来たかと血がさわぐ思いであった。

2. 1月19日午後9時から、第1回目の本会議が開かれた。世界中から集まった1500人余りの人々で、広い大会議場も熱気で盛り上がっていた。李現会長の点鐘と歓迎のあいさつに続いて、ジョン・ケニーR I 会長エレクトが登壇した。注目の次年度テーマが、「THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS」（「ロータリーの未来は、あなたの手の中に」）と発表された。テーマ発表の瞬間は興奮と盛り上がりがあると聞いていたが、淡々としたもので意外であった。しかし、「ロータリーは、全てクラブから始まる」、「クラブは、自主性をもって、よくならなければならない」との訴えに続き、「未来のロータリーをつくり出すのは、エバンストンではなく各クラブである」とスピーチが進むに従い、格調の高いものとなっていった。

決議23-34ですら、理事会決定だけで、歴史的遺産とするトップダウン傾向の中にあつて、会長エレクトの語り口には誠実さがあり、参会者の多くはスタンディング・オベーションで応えた。

3. ジョン・ケニー会長エレクトが、「未来のロータリーをつくり出す根源と権利は、各ロータリークラブにある」と明言した裏側には、「各クラブに対し、創意と工夫と努力によって、ロータリーを発展させる“義務”と“責任”がある」と指摘していることを失念するべきでない。「弁護士であるジョン・ケニー会長エレクトらしい理論構成である」と、同業者の私には感じ取れた。いずれにしても、ジョン・ケニーの演説は、ロータリーの王道を行くもので共鳴を覚えた。願わくば、実践活動においても、この考えを完徹してほしいものだと思った。



ガバナー補佐になって

I M 1 組 新宮 R C 桐本 貢



如何程補佐の仕事が務まったのか甚だ心細い限りです。

メンバーのご協力が無ければまったく何の役にも立てない事もよくわかり、いかに人と人との信頼、約束事の大切さ等、いまさら乍知らされた一年でもありました。

仕事の上なら、わかりきった決まり事でも仕事を離れた処ですと、物事の道理、人としての考え方、相手に与える影響等がわからなくなってしまう。子供の時に勉強する様なことをこの歳で改めて勉強させてもらい、それだけでも補佐をさせてもらった価値ある一年でした。

ロータリーは生涯勉強の場であるとよく言われますが、それも参加してのことだと思えます。親睦しかり、奉仕活動しかり、参加する事により通常余り接点のない人達との新しい出会いがあり、自分と違った見方、考え方に驚くこともしばしばです。

常に相手の話を聞く耳を持ち、考え方を理解しようとする心と頭のやわらかさを忘れずガンコな年寄りにならない様に勉強させてもらおうと思っております。

ガバナー補佐を務めて



IM2組 御坊東RC 小池 佳史

ガバナー補佐に任命されて、7ヶ月になります。1月25日に有田2000RC担当でインタシティーミーティングを終え、一段落ついた所です。2008年7月にスタートした時は1ヶ月の間に所属クラブの例会も合わせて16日、ロータリーの例会、地区会議に出席させていただきました。IM2組のガバナー公式訪問が全て終わるまで大変でした。しかし、地区会議の会場であるうお健ビルで同じく任命されたガバナー補佐15名を始め多くのロータリアンに出会うことが、できました。ロータリーに入会して13年になりますが、今まで経験したことの無いことがあり、感謝しております。

また、東京で開催された第37回ロータリー研究会にも出席させて頂き、多くのパストガバナーと一緒に、元内閣総理大臣 小泉純一郎氏の講演と晚餐会のアトラクションにおいて米海軍第七艦隊楽隊の演奏を楽しむことが出来、本当に有難うございました。

産経新聞・ラジオによる「外部広報」の展開報告

—— 地区総出の情報提供に驚愕しつつ ——

地区雑誌広報委員会委員長 川村 克人

1. 新しい外部広報への試み —— 全てお知らせしてこそ道ありき ——

本年度勝野ガバナーは、食品偽装など相次ぐ企業不祥事を嘆かわしいと断じ、企業倫理の向上を強く会員に訴えました。そのためには外部の方々に、ロータリーの現状を包み隠さずお伝えし、私達の奉仕活動も正しく広報することが何よりも大事と考えました。昨年の平原直前ガバナーも全く同じ思いであり、クラブ奉仕部門カウンセラーとしてなんとしても外部広報に注力しなければならないと考えました。

このようなトップの方針を具現化するため、地区雑誌広報委員会とIT委員会は、代表幹事と「友」地区委員と合同チームを組み知恵を絞りました。その結果産経新聞メディアを複合的に活用し、外部広報に新しい且つ思い切った活動を展開することを思い立ちました。

2. クラブ献金とRI補助金で体制 —— 先立つ資金に悩んで ——

それには資金が必要でした。ガバナー研修会で「RI広報補助金が出る」とのプログラムを聞きつけ、中島パストガバナーにお調べ頂き「良き広報なら獲得可能」との答えを得て、競争率10倍とは露知らず、貰ったつもりで進めることとしました。

残りは各クラブの浄財以外にありません。先ず三月に、次期ガバナー補佐会議で主旨を訴え、地区協議会で一步進めて公共メディアによる広報と浄財集めをお願いしました。今期に入って、会長会議と続いての広報・IT委員長会議では、直接クラブからの資金供与をお願いし、小人数クラブでは予算逼迫の切実な訴えもありましたが、総じて「行け・やれ」の意見が大きく、これはえらいことになったといささか腰を引く思いでした。

かくして、クラブから24,000円を頂戴し、更にRIから1万ドル支援頂き、資金体制は整い、後は計画の推進が問われることとなりました。

3. 誰彼なしの奉仕活動の熱烈な提供 —— ともかく来て、見て、聞いて欲しい ——

今回の最大の驚きは、情報提供源の歴代ガバナー、地区委員会、各クラブ、個人ロータリアンの熱心にして徹底的な「情報提供努力」でした。夜昼問わず、休みを問わず、資料を惜しまず、ロータリアンの善意と底力を目の当たりに見ることが出来ました。

新聞社もまた、期待に応じて東京から新たに記者を呼び、ロータリーの理念概念を一から学ぶ徹底さでした。ちなみに、理論派揃いの情報・規定委員会や職業奉仕委員会では、新聞記事にはならないのを承知で、カウンセラー、委員長、アドバイザー等が揃って記者に懇切丁寧な

解説を長時間繰り広げ、正確なロータリー理論を提供しました。

記者は地区委員長会議は殆ど取材し、IM会議・クラブ例会も何回か、財団学友・米山・青少年交換学生等も網羅的にインタビューしました。特に米山奨学生のボランティア活動や、インターアクトの集団研修には各々丸々一日付き合い、相互の情報交換はロータリアン関係者にも新聞社にも良き情報源となったものと考えます。

一つ驚いたのは新聞記者の数字へのシビアさでした。とても当委員会で対応しきれず、「ロータリーの友・編集部」「RI日本事務局・奉仕室」「米山記念奨学会・事務局」にお願いして対応して頂きました。現場に必ず出向くことと数字を確かめることが、事実把握の基本原則であることを、改めて知った思いです。

4. 広報活動の内容 —— 新聞・ラジオ・ウェブの複合メディアで展開 ——

イ) 「完遂したプログラム」

準備は前期から、取材は7月から、記事掲載は10月、ラジオ放送とウェブは12月からスタートし、今や第一期のヤマは2月をもって終わりを迎えます。

その上関西国際空港という地の利を得て、関空RCに便乗して写真展も共催しました。

- 1) 「産経新聞」によるロータリー活動記事掲載 14回
- 2) 「産経関西」ホームページによる同記事掲載 14回
- 3) 「ラジオ大阪」によるパーソナリティーとの対談放送 12回
- 4) 「奉仕活動記録写真30面」の集約（関空RC写真展等貸出継続中）

ロ) 「今後実施するプログラム」

この後新聞記事14面はまとめて冊子にし、我々の奉仕活動実績が記者や一般読者にどのように捉えられたかを、クラブや個人個人再吟味する資料を提供いたします。率直に言って、我々が最も喜ばれると思いを込めて提供した行為が紹介されず、予測しなかった場面が読者に提供されている部分が少なくありません。その分析は絶対必要です。

また、ラジオ大阪対談放送は、和歌山紀南では電波が弱くて聞こえずご不便をおかけし、CDにして再録する予定です。

- 1) 「産経新聞記事の集録冊子」の作成と配布
- 2) 「第2640地区HP」への記事及び録音移し替え（ほぼ完成）
- 3) 「ラジオ放送」録音のCD集約と配布
- 4) 「公共メディアによる広報」の評価総括

3. 現在までに感じていること —— 広報は未だし・独りよがりも反省の要 ——

広報の総括は、全て終了後に行いたいと思います。ただ今迄の活動過程で次のような感想を持っています。

- イ) 外部の方に、少しはロータリーを分かって頂いたと喜んでいますが、逆に妻でさえ何も知っていなかったと今迄の説明不足を痛く反省しています。
- ロ) 内部では、新聞記事を見て、ロータリーの活動領域はこんなに広がったかと感嘆し、全員でもう一度記事内容の反芻が必要と感じました。
- ハ) ただ、一過性の新聞記事とラジオでは、簡単にロータリーイメージは浸透し難く、今後とも気の遠くなるような努力が必要と思いました。
- ニ) またロータリーは「用語」「奉仕理念」とも独りよがりて極めて難解、記者でさえ首をかきげます。今後は、分かり易い用語や考え方でPR活動も必要です。

以 上

73 クラブより計 1,752,000 円ご賛同いただきました。

ご協力ありがとうございました。



国際ロータリー第 2640 地区「女性ロータリアンの集い」 報告

2008～9 年度 ホストクラブ 岸和田東RC

女性ロータリアンの集い代表世話人 藤井 秀香

2008 年 12 月 2 日(火)全日空ゲートタワーホテル大阪において「国際ロータリー第 2640 地区『女性ロータリアンの集い』」が開催されました。今年度は勝野ガバナーのご意向で平原年度に結成されました「大阪地区の女性ロータリアンの集い」をより発展した形で開催されました。目的を、地区内の女性会員が一堂に会して親睦を深め互いに交流の絆を持つ事、更にロータリークラブにおける女性会員増強及びそれにつながる学習会としました。第 2750 地区東京恵比寿ロータリークラブ司葉子様による講演「夢をかたちに、女性会員を増やそう」と「クラブ間意見交流」の 2 つを企画、女性会員だけでなく、地区役員、会長、幹事、ロータリアン、入会勧誘中の皆様にご案内を申し上げましたところ、勝野ガバナー、中島治一郎、大澤徳平パストガバナー、村上勇司ガバナーエレクト、「紀の女会」を始め 157 名の方々にご参加をいただくことができました。都合でご欠席の平原祥彰パストガバナーからは熱いメッセージをお届けいただきました。クラブ会員及び元会員によるお茶接待、雅楽演奏、司様ご講演、食事会・意見交流と進むにしたがい会場は和気あいあいとなりました。司様の講演については、時間の都合で、前もって当クラブ自主作成の資料「女性ロータリアンの歴史とその社会的背景」を配布し、「現況と問題点」に焦点をしばってお話戴きました。食事も進み、頃合を見計らったの「クラブ間意見交流」では、小林信夫地区増強委員長、大賀祐造 IM6 組ガバナー補佐、和歌山アゼリア RC 辻曙生様、堺 RC 近森裕子様、岸和田東 RC 野淳一様に壇上に上がっていただき、「司様の講演への感想」「女性会員入会時のエピソード」「女性会員に対する男性会員の様子」「女性会員受け入れの準備状況」「会員増強への作戦」などについて、発言していただきました。ユーモアを交えての苦しい回答もあり、会場は大きな笑いの渦になりました。最後に司葉子様からコメントや質問へのお答えをいただきました。

「集い」を終え、沢山の方々のご参加をいただきましたこと、華やかで、楽しく、しかも内容豊かな会となりましたことを大変うれしく感じています。当地区の女性会員の割合はクラブ数では約 59.2%、全体数からは約 5.4%です。今回の取り組みが、様々な意識改革となり、ロータリー全体の活動の発展につながることを願っています。又全てのロータリークラブが、女性会員を受け入れる日が来ることを願います

開催に当たり、ご多忙にもかかわらず、遠路はるばるお越し下さいました司葉子様に熱く御礼申し上げます。又多大なご協力をいただきました地区の皆様にご心から感謝申し上げます。

次回ホストクラブは堺フェニックス RC です。次年度も第 2640 地区の発展につながる会になりますよう皆様のご協力、ご支援よろしくお願い申し上げます。

新入会員紹介

1 月



せいと ゆきお
清藤 幸男

所属クラブ：藤井寺しゅらRC
職業分類：建築請負業
生年月日：1942年1月24日



かどはま かずお
角浜 和男

所属クラブ：羽衣RC
職業分類：建築リフォーム
生年月日：1973年8月15日



みき まさひろ
三木 正博

所属クラブ：海南東RC
職業分類：紙箱製造
生年月日：1941年6月24日



つじ あきら
辻 亮

所属クラブ：海南東RC
職業分類：不動産賃貸
生年月日：1937年9月19日



わだ としふみ
和田 利文

所属クラブ：串本RC
職業分類：福祉施設
生年月日：1931年4月5日



だぐらす うおいき
Douglas B. Woyke

所属クラブ：大阪金剛RC
職業分類：宣教師
生年月日：1943年1月21日



あじ かつみ
庵治 勝巳

所属クラブ：堺西RC
職業分類：記念碑
生年月日：1952年7月24日



みその たつや
彌園 達也

所属クラブ：堺おおいずみRC
職業分類：鍼灸整骨師
生年月日：1964年5月9日



ふるいち まさる
古市 勝

所属クラブ：富田林南RC
職業分類：建築業
生年月日：1954年11月25日



ばんどう としひと
坂東 利仁

所属クラブ：和歌山南RC
職業分類：空調工事
生年月日：1942年11月25日



いしはら たつお
石原 達夫

所属クラブ：和歌山南RC
職業分類：食品スーパー
生年月日：1945年8月24日



きたたに えいち
北谷 英市

所属クラブ：和歌山南RC
職業分類：食品加工材料
生年月日：1947年7月12日



ふじもと ひとし
藤本 均

所属クラブ：和歌山中RC
職業分類：自動車販売
生年月日：1948年8月8日



わだ かおる
和田 薫

所属クラブ：和歌山東南RC
職業分類：飲食業
生年月日：1961年2月23日

訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



いけじり かつたろう
池尻 勝太郎様 (堺清陵RC)

2009年1月25日死去

在籍期間： 19年4ヶ月

職業分類： 農業生産

ポールハリスフェロー：ポールハリスフェロー

米山功労者：3回目

生年月日：1924年6月5日



PHF・ベネファクター（1月分）

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
濱田 豊	1	和泉	濱口 正義	大口	堺西
沖殿 正博	BE	海南	小野 晃範	4	堺フェニックス
宮田 貞三	1	海南東	尾松 惣一郎	1	堺清陵
西村 政和	6	岸和田	中川 優		堺東南
皆見 景政	7	岸和田	中山 崇		高石
山岸 哲夫	BE	岸和田北	吉本 和子	BE	高石
藤田 光寛	3	高野山	坂東 剛	1	高石
矢倉 甚兵衛	BE14	串本	泉谷 篤彦	1	高石
上西 義隆	1	松原中	青木 辰二	3	高石
柳川 弘	7	那智勝浦	大森 豊	3	高石
方田 和之		大阪金剛	坂本 好司	3	高石
上松瀬 洋	1	堺東	瀬戸 康富	3	高石
北野 喜三	2	堺東	本間 洋介	3	高師浜
中村 清嗣	2	堺東	辻内 清一	4	高師浜
中野 均	1	堺東	近藤 新治		田辺
咲山 旭	3	堺東	初田 隆生	1	和歌山北
佐々木 伸二		堺東	岩橋 重文	3	和歌山北
山中 喜八郎	BE	堺北	岩内 寛之	1	和歌山北
正木 正	3	堺北	森本 芳宣		和歌山北
徳田 稔	1	堺北	村上 恒夫	BE	和歌山南

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
城岡 陽志	1	堺北	主井 知子	1	和歌山西
松岡 晋	6	堺西	中井 良明	1	和歌山西
山田 周作	4	堺西			

数字はマルチプルの回数 BEはベネファクター

米 山 功 労 者 (1月分)

お名前	回数	クラブ名	お名前	回数	クラブ名
片山 吉定	1	有田南	富永 泰示	1	堺南
児島 誠一	7	有田南	船富 雄三	3	高師浜
石田 安宏	2	和泉南	河合 良	1	高師浜
坂口 陸夫	4	和泉南	北嶋 文男	2	高師浜
辻林 俊彦	5	和泉南	倉橋 久雄	4	高師浜
堀本 京子	20	串本	佐伯 光	2	高師浜
佐々木 一頼	3	堺	村上 恒夫	4	和歌山南
中田 幸一	7	堺南	山田 守	1	和歌山南

ハイライトよねやま 108号

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

++ 今月のトピックス ++



2009年2月13日発行

1. 寄付金速報 — 下期は順調にスタート —
2. 4月からの新規採用合格者が決定！
3. P E T S ・地区協議会でお使いいただく資料をお送りします
4. 児童ホームの子どもたちとフットサルで交流 —第 2780 地区学友会—
5. 第 2770 地区学友会が母国の学生に奨学金

文庫通信 (258号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報として

- ◎「他人の金で奉仕をするという虚構」 佐藤千壽 P G 遺稿 (D.2790 月信) 2009 8p
- ◎「ロータリーを見直そう」 千 玄室 (D.2650 地区大会) 2008 8p
- ◎「識字力あれど識智力のない日本」 佐藤千壽・深川純一
(D.2680 地区大会) [2008] 18p
- ◎「決議 23-34 その存続の危機」 田中 毅 (D.2710 I M 報告書) 2008 12p
- ◎「ロータリー理解推進月間にあたって」 戸田 孝 (D.2660 月信) 2009 1p
- ◎「ロータリー理解推進月間 (ロータリーの広報を考える)」 塚原房樹
(D.2510 月信) 2009 2p
- ◎「ロータリー理解推進月間」 足立功一 (D.2500 月信) 2009 12p
- ◎「ロータリー理解推進月間によせて」 三軒久義 (D.2640 月信) 2009 1p

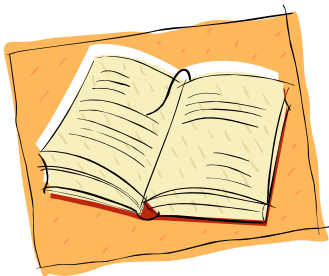
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>



開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

第2640地区 出席報告 (2009年1月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	1月 出 席 率	平 均 出 席 率	クラブ名	会員数		入会		退会		例 会 数	1月 出 席 率	平 均 出 席 率
	08.7.1	1月末	1月	累計	1月	累計					08.7.1	1月末	1月	累計	1月	累計			
有 田	36	36	0	0	0	0	4	90.00	88.78	大 阪 狭 山	5	5	0	0	0	0	4	90.00	94.80
有 田 南	33	32	0	0	0	1	4	100	97.44	りんくう泉佐野	27	27	0	2	1	2	4	76.76	75.85
有田2000	16	14	0	0	1	2	4	86.67	84.09	堺	79	79	0	2	1	2	4	88.94	87.44
藤井寺しゅら	16	16	1	1	0	1	3	93.80	91.20	堺 東	32	34	0	2	0	0	4	99.17	98.12
御 坊	53	53	0	1	0	1	4	95.11	92.27	堺 北 西 南 西	19	18	0	0	0	1	4	79.40	74.20
御 坊 東	20	20	0	0	0	0	3	86.67	87.20	堺 泉 ケ 丘	20	21	0	1	0	0	4	92.86	95.86
御 坊 南	28	29	0	1	0	0	4	81.48	85.23	堺 北	36	38	0	2	0	0	5	84.23	81.34
羽 曳 野	27	27	0	4	0	4	4	77.17	85.32	堺 南	33	31	0	0	1	2	3	86.90	84.71
羽 衣	22	23	1	1	0	0	4	90.80	90.90	堺 中	26	27	0	2	0	1	4	60.87	69.23
阪 南	13	13	0	0	0	0	4	100	99.72	堺 西	22	21	1	2	1	3	4	92.19	83.75
橋 本	54	53	0	1	0	2	4	91.49	90.96	堺おおいずみ	30	32	1	2	0	0	3	83.33	83.91
橋本紀ノ川	20	20	0	1	0	1	3	85.00	88.78	堺フェニクス	22	24	0	2	0	0	4	68.25	74.39
岩 出	28	28	0	0	0	0	4	91.97	92.44	堺 清 陵	24	22	0	0	1	2	4	92.50	95.04
和 泉	39	40	0	2	0	1	4	82.64	85.06	堺 泉 北	10	10	0	0	0	0	4	85.71	86.81
和 泉 南	33	34	0	1	0	0	4	60.29	64.62	堺 東 南	12	12	0	2	0	2	4	97.23	88.61
泉 大 津	50	51	0	1	0	0	4	76.63	77.22	泉 南	18	19	0	1	0	0	4	88.24	88.20
泉 佐 野	37	35	0	1	0	3	4	87.50	88.58	新 宮	57	57	0	2	0	2	4	77.63	84.00
海 南	45	42	0	0	0	3	4	66.70	70.40	白 浜	15	15	0	0	0	0	4	84.62	93.03
海 南 東	68	68	2	2	0	2	3	81.86	80.78	忠 岡	13	12	0	0	0	1	4	63.64	62.21
海 南 西	22	21	0	0	0	1	4	81.90	84.12	太 子	9	12	0	3	0	0	3	87.86	83.39
貝 塚	19	17	0	0	0	2	3	100	96.00	高 石	29	28	0	0	0	1	4	82.35	75.07
貝塚コスモス	21	21	0	0	0	0	4	76.19	85.44	高 師 浜	20	19	0	0	0	1	4	87.50	87.44
関西国際空港	32	31	0	0	0	1	4	77.50	71.38	田 辺	87	86	0	0	0	1	4	89.53	88.80
河 内 長 野	29	30	0	1	0	0	4	71.00	73.70	田 辺 は ま ゆ う	36	33	0	2	0	5	4	81.82	78.52
河 内 長 野 東	27	29	0	3	0	1	4	85.33	84.93	田 辺 東	50	47	0	0	0	3	3	87.74	85.26
岸 和 田	51	48	0	2	0	5	4	80.24	79.65	富 田 林	34	34	0	0	0	0	4	82.69	83.82
岸 和 田 東	54	55	0	3	0	2	4	90.00	93.59	富 田 林 南	21	21	1	1	0	1	4	84.21	80.59
岸 和 田 北	27	27	0	0	0	0	4	100	100	和 歌 山	75	74	0	3	0	4	3	82.83	85.79
岸 和 田 南	21	20	0	1	0	2	4	93.75	92.60	和歌山アゼリア	42	42	0	1	0	1	3	80.95	84.55
粉 河	19	19	0	0	0	0	3	100	97.24	和 歌 山 東	55	54	0	1	0	2	4	97.85	99.03
高 野 山	22	23	0	1	0	0	4	96.25	95.73	和 歌 山 城 南	38	39	0	2	0	1	4	90.00	91.23
串 本	9	11	1	3	0	1	4	77.27	71.68	和 歌 山 北	49	47	0	1	0	3	3	74.82	74.82
松 原	36	36	0	0	0	0	4	82.61	87.11	和 歌 山 南	86	90	3	6	1	2	4	84.28	86.57
松 原 中	25	26	0	3	0	2	4	75.96	75.91	和 歌 山 中	28	29	1	1	0	0	4	93.07	83.36
美 原	26	26	0	1	0	1	4	88.60	88.50	和 歌 山 西	22	22	0	0	0	0	4	95.45	95.45
那 智 勝 浦	20	21	0	1	0	0	4	72.50	70.98	和 歌 山 東 南	37	42	1	5	0	0	4	83.13	87.85
大 阪 金 剛	29	32	1	3	0	0	4	82.05	86.26										

クラブ	7月1日クラブ会員数				1月末クラブ会員数				1月平均 出席率	入会		退会	
	男性	2229	女性	128	男性	2213	女性	137		1月	累計	1月	累計
73	2357				2350				83.99	14	87	7	82

3 月 識字率向上月間 (Literacy Month)

1日	(日)	米山奨学生期間修了者歓送会	テクスピア大阪
2日	(月)		
3日	(火)		
4日	(水)		
5日	(木)		
6日	(金)		
7日	(土)	I.M.1組 堺清陵RC創立 20 周年記念例会	ガーデンホテル ハナヨ ホテル第一堺
8日	(日)		
9日	(月)		
10日	(火)		
11日	(水)		
12日	(木)		
13日	(金)		
14日	(土)	09-10 年度 第 2 回PETS	紀伊田辺シティプラザホテル
15日	(日)	阪南RC創立 25 周年記念例会 ローターアクト新世代交流会	全日空ゲートタワーホテル サンスクエア堺
16日	(月)		
17日	(火)		
18日	(水)		
19日	(木)		
20日	(金)		
21日	(土)	第 4 回財団奨学生オリエンテーション	テクスピア大阪
22日	(日)		
23日	(月)		
24日	(火)		
25日	(水)		
26日	(木)		
27日	(金)		
28日	(土)	第 2 回クラブ青少年交換委員長会議	テクスピア大阪
29日	(日)		
30日	(月)		
31日	(火)		

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所のご案内

〒640-8215 和歌山市橋丁 23 サイバーリンクス N-4 ビル 2F

T E L (073) 4 2 8 - 2 6 4 0

F A X (073) 4 2 8 - 2 6 4 3

E-m a i l info@rid2640g.org

U R L <http://www.rid2640g.org/katsuno/>

勤 務 時 間 9 : 00 ~ 17 : 00 (土・日・祝日は休み)

S T A F F 代表幹事 桃田 隆彦

事 務 職 員 山本千恵子 平田有紀子

